

広島キリスト教社会館

所在地	〒733-0025	広島市西区小河内町1丁目13番3号
主事	西嶋 佳弘	
保育所長	窪田 晋治	
かりんセンター長	林 修二	
電話番号	(082)295-7542	(保育所)
	(082)232-4274	(センター)
FAX番号	(082)295-7565	
	(082)232-4284	

2015年度 事業報告(全般)

主事 西嶋 佳弘

この一年も、地域の人々に仕える福祉のわざを通して、神の導きのもとで宣教の働きがなされた事に感謝したい。また教区内外の教会・伝道所・学校関係や諸施設団体の方々の祈り、献金と奉仕活動に支えられたことを感謝する。社会館では、保育所、学童クラブ、デイサービス、訪問介護、居宅介護支援事業を行っている。各部が地域のニーズにこたえ、安心して集える居心地の良い場所となれるよう心がけ、運営した。社会館の使命を確認しつつ、各部署間の相互理解と協調を大切に、職員としての資質向上を目指しながら活動した。

小学生の放課後児童健全育成事業「学童クラブ」は、昨年度より広島市補助事業となり、安定した運営がなされている。個々の子どもの成長に配慮し、外国籍の子どもや支援の必要な子どもへの理解と適切な対応を心がけた。また活動においては、異年齢の関わりを大切に。また中高生のための「フリースペース」は、週1回専任の職員を1名置き、学習支援や進路相談も行った。

保育所は、園舎の耐震改修工事を終え、安全性を確保することができたことは感謝である。保育においては、子どもの家庭の状況を理解しつつ、支援の必要な子どもや、保護者への配慮も大切にしながら、保育を行った。また、地域の文化を大切に、外国籍の子どもへの適切な対応に努めた。

高齢者介護事業は、地域の現状を理解し、利用者の背景や生活状況を把握して、適切な対応ができるよう務めた。しかし、介護保険制度変更による収入減や近隣の施設の増加などの影響により、利用者の減少や資金不足が生じ、運営は厳しさを増している。利用者の増加を目指し、地域の高齢者の状況を把握し、かりんを知っていただく機会を増やすよう努めたが、十分な成果は得られていない。職員の人員配置に関する労苦も多いが、現場職員の誠実な取り組みにより、利用者に信頼を得て大きな事故なく一年を過ごせたことに感謝したい。11月には全館でバザーを行い、多くの地域の方々の来訪があり盛況であった。

職員は、在日外国人・部落差別・セクシャルマイノリティ・平和と人権等について学ぶ機会を持ち、「教区部落解放現場研修会」に参加した。運営には教区諸教会、施設、学校より様々な形での支援をいただき感謝である。かりんの食事は、在日大韓基督教会広島教会信徒の方から、継続して指導協力を受けている。

社会館委員会は、社会館の使命とキリスト教主義に基づく方向性や人事全般、経営状況の把握などについて話し合い、運営全般や職員の労苦や全体の課題について理解を深めるよう努めた。また教区諸教会、広島女学院からの協力を得られるよう、情報を発信することを大切に。月1回開催される委員会は、全員が揃うことが難しかった。委員会では、運営の委員によって保育園園児に対する聖書のお話を、月1回程度行った。主事は、教会・キリスト教の立場から関わり、職員と委員会との連携をとりつつ、人事や経営面の問題について職員と相談し、館全体が円滑に運営されるよう努めた。

また、子ども礼拝のお話を月2回程度行い、学童クラブの行事等にも参加・協力した。

「賛助会献金」は減少傾向であるが、全国の多くの方々から支援していただき、感謝である。年2回『社会館だより』を発行し、利用者や家族、全国の教会関係の方や支援者に発送している。職員も教区や分区の研修会や会議や、近隣教会の礼拝に出席して、理解と協力を呼びかけた。地域の人々や教会、ボランティア団体から様々な形で支援と協力が得られ、感謝である。職員とキリスト教や教会、西中国教区の活動との関わりを深めていくことを、引き続き課題としていきたい。

保育所報告

所長 窪田 晋治

2015年度は、乳児34名幼児40名の計74名で定員割れでのスタートを切る。10月には定員に達したが、新たな保育士の確保が難しい状況にあり年度途中の入所希望者に対応することが充分でなかったことは残念であった。

家庭環境や保護者の状態から配慮の必要な園児が増えており個々に合った対応を求められた。ネグレクトに近い状況にある子どもに対して、公的機関とも連携を取りながら継続して対応していく必要がある。

延長保育は社会的背景にもよるのか17時以降の居残りに掛かる子どもが減少傾向にあり遅出の保育士と合わせ5名の保育士体制で行った。登録は4~5名と需要も減ってきている。

障害児保育では、広島市障害認定審査会への依頼を行い広汎性発達障害と診断を受けた2才児の在籍するクラス担任を5月から3名に配置転換した。保護者や関係機関との連携を取り、他の保育士の協力のもと個々の成長を見ることができた。またダウン症の用務員は2名から1名に絞る勤務時間や仕事量の増になったが、今後も職員が協力して継続していきたい。

職員研修としては4回実施した。昨年度から継続して行っている中国籍(ニューカマー)の現状や実態を考えていくこととして6月に中国籍の卒園児の保護者を講師に招き、今までの経験を基に話をいただいた。その上で8月には保育に取入れられる中国の歌やお話等の紹介や食文化、歴史を調べ発表する場を持つ。11月には平和学習、2月には保育と行事の見直しについて職員同士の意見交換を行った。いつの間にか行事に追われる保育になっていないか?改めて自問自答しながら来年度への大きな課題として繋がった。

新しい保育制度への変換の年であり制度そのものも十分に理解されていない中での行政側の対応や提出資料、公定価格の計算方法などに忙殺されそうな1年であったが、卒園児14名を無事送り出すことができたことは感謝である。また念願であった園舎の耐震改修工事も4737千円の国庫補助が得られ3月末の竣工を無事迎えることができた。

2016年度も職員同士の連携を深めながら与えられた園児とその家庭との信頼関係を構築し、誰もが楽しく保育所生活を送れるような運営を心掛けたい。

2015年度 職員配置状況

所長	窪田 晋治	嘱託医師	小児科	大谷 潔	歯科	大井出 和久
主任	辻村 玲子	用務員	奥田 寿恵	(4月1日 ~ 3月31日 : パート)		

Aブロック

あじさい組 (5才児) 山田 明枝

コスモス組 (4才児) 迫田 涼子
福場 将太 (4月1日 ~ 3月31日 : 非常勤)

Bブロック

ひまわり組 (3才児) 権田 美緒

らいおん組 (2才児) 多々野 和昭
岡本 美乃里
吉久 依里

Cブロック

きりん組 (1・2才児) 多賀 かおる
角山 左京 (4月1日 ~ 3月31日 : 非常勤)

こぶた組 (1才児) 吉田 松美
中邑 綾子 (4月1日 ~ 3月31日 : 非常勤)

Dブロック

アヒル組 (0・1才児) 太田 佳子
楠本 友子

ひよこ組 (0才児) 前岡 智子
村橋 宏治 (4月1日 ~ 3月31日 : 非常勤)

Eブロック

栄養士
調理員

松脇 尚美
中山 真樹子
川本 ヨシ子

(4月1日 ~ 3月31日 : 土曜パート)

Fブロック

延長保育

藤川 道子
藤本 祥平
平野 知加子

(4月1日 ~ 3月31日 : パート)
(4月1日 ~ 3月31日 : パート)
(4月1日 ~ 3月31日 : パート)

退職者

福場 将太
中邑 綾子

(3月31日 : 雇用期間満了)
(3月31日 : 雇用期間満了)

利用者から寄せられた意見・苦情等について

2015年度中に保育所に出されたご意見や苦情について以下のような対応を行いました。

Q. 保護者間のトラブルに対する保育所側の対応についての苦情

A. 双方の意見を聞き対応したが、納得を得られず後日話し合いの場を持つこととした。

耐震改修工事について

- ・指名競争入札10社中3社辞退
- ・入札日：2015年12月21日 11:00 本館2F学童教室にて
- ・落札業者：(株)砂原組
- ・落札金額：5,700千円
- ・国庫補助金額：4,737千円
- ・工事期間：2016年1月18日～2016年3月26日
- ・総工事費用：6,156千円(内消費税額：456千円)
- ・設計管理業者：(有)池崎設計
- ・設計管理費用：1,552.8千円(内消費税額：112.8千円)

調理室

栄養士 松脇尚美

1. 給食状況

安全でおいしいものを提供できるよう心がけており、添加物を多く含む食品の使用を極力控えるようにしている。また、食材や調味料等もできるだけ国産のものを使用するようにしている。

旬の食材を使い、季節を感じ取れる給食にしたいと思っている。園庭では野菜を栽培しており、子どもたちは季節ごとの様々な野菜の成長と収穫を体験し、食材への知識を深めるとともに、食べ物や生き物や、作ってくれた人たちへの感謝の気持ちを育んでくれているように思う。

韓国・朝鮮料理や中国の料理、おやつ、地域の料理を献立に取り入れている。また、月1回クラス毎に好きな給食をリクエストする「希望献立」を行っている。

おやつは手作りのものを心がけている。

七夕・クリスマスなどの行事食を行っている。

年長・年中児には豆の筋取りや野菜の皮むき等を手伝ってもらっている。食材への興味と関心が高まり、食べる喜びへと繋がっているようだ。

2. アレルギー食について

現在2名の食物アレルギー対応食を行っており、牛乳と乳製品除去が1名、牛乳そのものと鯖除去が1名となっている。

3. 今後の課題

衛生面、また食物アレルギー児への対応は十分に気を配り慎重に行っていきたい。

食の安全に関して(遺伝子組み換え食品や食品添加物について等)は日々新しくなる情報に目を向け、関心を持って学んでいきたい。

年間を通じて、保育室と連携を取りながらクッキング保育や異年齢児での給食(ランチルーム)など取り組んでいきたい。

2015年度 地域(町)別在籍数

区名	町名	人数	区名	町名	人数	
西 区	小河内町	13	西 区	山手町	2	
	福島町	8		田方	1	
	都町	11		三滝本町	1	
	天満町	7	中 区	小網町	1	
	上天満町	6		西川口	3	
	中広町	7	安佐南区	中筋	1	
	己斐本町	2		山本新町	1	
	己斐中	4	佐伯区	五月が丘	1	
	己斐上	3		合 計		85
	観音町	5				
	観音本町	3				
	南観音町	2				
	南観音	2				
	庚午中	1				

2015年度 在籍児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
幼 児	40	40	40	40	40	39	39	39	39	39	39	39	473	39.42
乳 児	34	37	37	38	37	38	41	41	41	42	42	42	470	39.17
(内0歳児)	(2)	(2)	(2)	(3)	(3)	(4)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(46)	3.83
在籍児数	74	77	77	78	77	77	80	80	80	81	81	81	943	78.58
保育日数	25	23	26	26	23	23	27	23	24	22	24	26	292	24.33
出席率(%)	80	82	84	87	72	85	86	68	84	77	71	76	952	79.33

2015年度 職員の研修参加状況

研修会名	主 催	参加者名
全国私立保育園連盟全国大会	全国私立保育園連盟	窪田晋治
発達障害児の理解と保育	広島市子ども未来局保育指導課	多々野和明
第15回広島の「在日」を考える	広島の「在日」を考える会実行委員会	太田佳子
私たちは「日本軍慰安婦」歴史事実を忘れない	日本軍慰安婦問題解決ひろしまネットワーク	辻村玲子
柏学園夏季療育セミナー	柏学園	角山左京
甲四国こども文化セミナー	こどものとも社	村橋宏治
ワンダーサマースクール	世界文化社	権田美緒
2015年度 夏季保育大学	日本キリスト教保育所同盟	窪田晋治
広島県人権保育研究会	広島県解放保育連絡会	角山左京
子どもの育ちを支える運動シンポジウム	全国私立保育園連盟	窪田晋治 吉田松美
広島市社会福祉施設施設長研修	広島市社会福祉協議会	窪田晋治
玉川大学公開講座	玉川大学	前岡智子
アレルギー講演会	広島県	岡本美乃里
福島と広島をつなぐシンポジウム	もみのきの会	中山真樹子 多賀かおる 中邑綾子 藤川道子 松脇尚美
福島町の歴史	デイサービスセンターかりん	藤本祥平 山田明枝 迫田涼子 福場将太 吉久依里 辻村玲子
今からでも遅くない子育て	広島中央保健生協	平野知加子

- *以下の内容で職員研修会を実施しました。
 6月：在日中国人の現状と実態を知り考える。(卒園児の保護者より聞き取り)
 8月：中国の遊びや歌、食文化や歴史について(研究発表形式)
 11月：戦争(安保)法案とは
 2月：保育と行事の見直しについて

2015年度 感染症と怪我件数

月	感染症等		怪我	
4	RSウイルス	1		
	ウイルス性胃腸炎	1		
	嘔吐下痢症	3		
5	クルーズ症候群	1		
	嘔吐下痢症	2		
7	溶連菌感染症	1		
	嘔吐下痢症	1		
	とびひ	1		
	手足口病	2		
	ヘルパンギーナ	1		
8	流行性耳下腺炎	1		
	手足口病	5		
	ヘルパンギーナ	3		
9	手足口病	3	口内裂傷	1
10	水痘	2	左眼球に傷	1
11	水痘	26		
	嘔吐下痢症	3		
12	嘔吐下痢症	1	左眼球に傷 左腕亜脱臼	1 1
1	インフルエンザB型	17		
2	インフルエンザA型	1		
	インフルエンザB型	32		
	流行性耳下腺炎	1		
3	インフルエンザA型	2	前歯打撲	1
	インフルエンザB型	2		
	流行性耳下腺炎	4		

* 大谷小児科医による健康診断を毎月実施

* 大井出歯科医による歯科検診を11月に実施

放課後児童健全育成事業 社会館学童クラブ報告

児童支援員 迫田 和生

学童クラブ(小学生部)状況と展望

・2015年度は、新1年生12名を迎え、定員40名に近い好スタートであった。年間平均登録児童数は36名。子どもたちは落ち着いて過ごせていたが、トラブルも多かった。その都度、保護者や学校と連携をとり、解決に尽力した。また保護者や職員に向け「支援員や活動について」のアンケートを実施し、支援員の資質の向上のための取り組みも行った。プログラムは季節に合わせて子どもたちの様子を考慮しながら多様に企画し、子どもたちも学童クラブでの活動を楽しみにしている。

時代の流れにより子どもたちを取り巻く環境や保護者も変わってきている。その中で子ども一人一人の状況や問題を把握し、それぞれの子どもたちが持っている「良さ」を発揮できるように家庭や学校と連携をとり、健やかな成長を支えていきたいと思う。そして子どもたち自身が互いの「良さ」を知り、本当の意味で理解し認め合える「仲間作り」を目指す。

・共同生活の中で差別をしない、差別を許さない事を意識し、取り組みを進めていく。また、様々な差別やイジメが起こった場合には“助け合う事が出来る力”を養える様な環境を作る。将来その様な事があった際、子どもたちの中で話し合える仲間であるような関係作りを目指したい。児童や支援員、保護者の意見等も聞き一緒に考え、取り組める関係作りを大事にしたい。

・2015年度より子ども子育て支援制度が施行された。放課後児童健全育成事業の内容が大幅に改正され、対象児童が1年生～6年生までに拡充し、補助額も増額となった。補助対象基準を遵守しつつ、補助対象外児童であっても本当に社会館を必要とする児童や家庭の為に積極的に受け入れを行う。

活動内容

- ・ 工作をしよう (定期的) いろいろな物を使って工作をする。
- ・ 昼食作り(土曜日) (定期的) 子どもたちと支援員みんなで、楽しく作って食事をする。
- ・ 外出プログラム 土曜日 (月1～2回) お花見遠足、健康科学館で遊ぶ、動物園、川遊び、妹背の滝等。遊び(じんどり・サッカー等)
- ・ 木曜日の活動 (不定期的) おやつ作り・保育所年長組、デイサービスとの交流会等
- ・ 子ども礼拝 隔週木曜日 月1～2回 讃美歌を歌い、西嶋主事より聖書の話の話を聞く。
- ・ キャンプ (夏休み) 全学年1泊2日で現在廃校の戸河内、打梨へ宿泊。夕食は飯盒炊飯など。

2015年度 職員配置状況

正規職員	センター長	林 修二					
	事務長	清水博文					
	現場サブリーダー	迫田和生					
非常勤職員	児童支援員	郷田 由桂	産・育休中	(4月1日 ~ 1月31日)	:	パート)
	現場サブリーダー	須磨 勇記		(4月1日 ~ 3月31日)	:	パート)
	児童支援員	青木 優子		(5月15日 ~ 3月31日)	:	パート)
	児童支援員	神川 一美		(1月8日 ~ 3月31日)	:	パート)
	児童支援員	矢田 浩子		(3月15日 ~ 3月31日)	:	パート)
	児童補助員	高橋 あゆ子		(9月1日 ~ 3月31日)	:	パート)
	児童補助員	池田 真結子		(3月29日 ~ 3月31日)	:	パート)
	事務員兼補助員	宮城 朋子		(4月1日 ~ 3月31日)	:	パート)
退職者	児童支援員	横木 文子	自己都合	(11月9日 ~ 1月31日)	:	パート)
	児童補助員	矢田 実奈美	期間満了	(4月1日 ~ 3月31日)	:	パート)
	事務員	平野 菜摘	施設異動退職	(4月1日 ~ 3月31日)	:	パート)
ボランティア	2～3名	フリースペースの中高生が時々活動に参加。					

会員の構成 2016年 3月 31日現在

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	15名	3名	9名	3名	0名	3名	33名

活動日数及び平均利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
月活動日数	25日	23日	26日	26日	24日	23日	26日	23日	23日	22日	24日	26日	291日	24.3日
利用延べ数	603人	524人	549人	612人	573人	553人	582人	507人	540人	415人	477人	546人	6481人	540.1人
平均利用数	24.12	22.78	21.12	23.54	23.88	24.04	22.38	22.04	23.48	18.86	19.88	21.00	22.27	22.3人

○2015年度 学童クラブ年間行事

月 日	行 事	月 日	行 事
4月 2日	新1年生歓迎会・学童探検	10月 3日	バザーピラ配り
3日	ザ・パーラーショップ	10日	三滝アスレチックに行こう！
4日	お花見遠足	17日	昼食会・ゴスペルを楽しもう！
6日	プチピクニック	24日	バザーポスター作り
9日	目標づくり	31日	バザーピラ配り・ハロウィンパーティー
11日	お花見遠足in中央公園	11月 2日	本気体カづくり！！
16日	おやつ作り	8日	社会館バザー
18日	本気知力作り！！	14日	昼食会・子どもの権利について学ぼう
23日	昼食作り～餃子パーティー～	21日	紅葉狩りに行こう！！
25日	デイサービスかりんと交流会	28日	工作をしよう！！
5月 1日	myキャップを作ろう	12月 5日	おやつ作り～PIZZAを作ろう～
2日	交通ランドに行こう！！	12日	餅つき大会(保護者参加行事)
9日	昼食会	19日	交通科学館に行こう！！
14日	おやつ作り	24日	工作をしよう！
16日	サンドウィッチday	25日	クリスマス会
23日	動物園に行こう！！	26日	昼食会
28日	おやつ作り	28日	学童クラブ忘年会
6月 1日	みやじマリンに行こう	1月 5日	学童はじめ！
6日	昼食会	6日	お正月遊びをしよう！
13日	山探検に行こう！！	9日	工作をしよう！！
20日	昼食作り	16日	昼食会
25日	デイサービスかりんと交流会	23日	スケートに行こう！！
27日	工作をしよう！～スライムを作ろう～	30日	1日部活day
7月 4日	劇団四季「美女と野獣」を観に行こう	2月 6日	昼食作りをしよう！
10日	社会館花火大会	13日	バレンタインデーおやつ作り
11日	ファミリープールに行こう！	20日	昼食会
18日	昼食会(保護者参加行事)	27日	比治山公園に行こう
21日	夏休みの話	3月 5日	本気体カづくり
22日	夏休みチーム作り	12日	昼食会(保護者参加行事)
23日	食べ物の話	19日	呉ポートピアパークに行こう！！
24日	ファミリープールに行こう！！	20日	卒業旅行
25日	工作をしよう	26日	工作をしよう
27日	園庭水遊び	28日	町探検をしよう！！
29日	おやつ作り	29日	弥山に登ろう！！
30日	保育所プールで遊ぼう	30日	学童クラブ進級・卒業パーティー
31日	平和の集い1日目	31日	大掃除
8月 1日	平和の集い2日目	その他	
4～5日	キャンプ準備	不定期	おやつ作り、デイサービス交流会、年長組交流会、避難訓練
6日	昼食会・キャンプ準備	月1～2回木曜日	木曜子ども会(歌と絵本、紙芝居の読み聞かせ)
7～8日	学童キャンプ		
10日	かりん交流会		
11日	フルーツポンチづくり		
13日	川遊びに行こう！！		
17日	水風船大会		
19日	昼食会・夏祭り準備		
20日	夏祭り～おじさい組交流会～		
25日	流しそうめん		
26日	大掃除		
29日	妹背の滝に行こう！！		
9月 5日	昼食会		
12日	動物園に行こう！！		
19日	峰高公園に行こう！！		
26日	昼食作り		

意見・苦情相談等について

2015年度中に出されたご意見や苦情相談について以下のような対応を行った。

- ・相談 7件 保護者から、家庭状況や子ども同士のトラブル等について相談があり対応した。
- ・苦情 5件 保護者より、活動時間内での宿題の事や指導員の言動の事等について苦情・意見があり指導の仕方等について指導員間で改善出来るように話し合い対応した。

※保護者及び内部職員に学童クラブの活動についてのアンケートを行い、その結果をもとに活動・支援員対応についての見直し・改善を行った。

事故報告は以下の通りです。

- ・事故報告 3件 行事及び外遊び時に子どもがケガをした為、保護者に連絡し処置をして対応した。

フリースペース事業報告(自主事業)

児童支援員 須磨 勇記

・中学・高校生を対象としたフリースペース事業・学習支援事業を行う。社会館を必要としている地域の子どもたちが気軽に立ち寄り過ごせる場となるような活動を目指し、特別な支援が必要な中学・高校生の拠り所になれるよう努めていく。センター長やボランティアの方を中心に、学習の機会に乏しい貧困家庭などの中学生以上を対象に幅広く学習支援を行っていく。

登録者数 : 19名

活動日数及び利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月活動日数	2日	4日	7日	5日	0日	8日	8日	7日	6日	6日	8日	6日	67日
利用者数	8人	11人	20人	14人	0人	47人	32人	24人	19人	17人	25人	22人	239人

デイサービスセンターかりん 報告

センター長 林 修二

- 利用者の減少に伴い経営が悪化している。利用者確保に向けて勧誘を行った。ケアマネに依頼することももちろん、今まで社会館が培ってきた地域との関係をもとに民生委員など地域の方や、学童クラブの元保護者などにも呼びかけた。教会にも利用者紹介などをお願いした。一番多かった利用者の友人・知人の紹介も丁寧をお願いしている。またチラシの配布、看板の設置等も行った。
- 在日韓国・朝鮮人の利用者は9名で18.4%を占めるが、在日一世の利用者が1名だけになり、一時期の韓国の歌を歌ったり、踊りを踊ったりする活気が減ってきている。在日二世の利用者が増えるに伴って二世に合ったプログラムが必要とされている。
- 被害妄想から利用者同士のトラブルがある。いつまでも尾を引いているケースがあり、すぐにスタッフが対応することになっているが、なかなか解決しないケースもある。
- 転倒事故が「かりん」、自宅、外出先でよく起こり、注意を喚起しているが、減少の兆しが無い。骨折により退会された利用者もいる。防止の為の工夫に、より一層努めたい。
- 地域とのつながりを増やすためのプログラムが必要とされている。近隣の高齢者を対象に「かりん食堂」を行った。また、「かりんだより」を発行し、色々なところに配布することも始めた。

かりんの特徴は以下のとおり。

1. 家庭的で、普段着のまま来れ、安心して過ごせるデイサービス。
2. 1人1人のニーズに応え、きめ細かいサービス提供を行う
3. 職員と利用者が世話をする・されるの関係でなく、共に過ごし、共に笑い合える関係を大切にする。
4. 同性介護を行い、利用者の尊厳を尊重する。
5. 保育所、学童クラブの子どもたちとの交流を行う。
6. デイサービスでの援助をきっかけに、利用者の生活をさまざまな面から支えられるよう、生活相談を行う。
7. 今まで培った信頼関係をもとに地域に根差した活動を行う。

1. 職員配置

正規職員 センター長（生活相談員） 林 修二
現場サブリーダー 高倉 愛子
（生活相談員兼介護職員）

非常勤職員	生活相談員 兼 介護職員	関 丙淑	ケアマネ兼務	(4月1日 ~ 3月31日)	: 非常勤)
	生活相談員 兼 介護職員	松宗 理恵	ケアマネ兼務	(4月1日 ~ 3月31日)	: 非常勤)
	介護職員	岩井 一仁		(4月1日 ~ 3月31日)	: 非常勤)
	介護職員	森山 孝代		(4月1日 ~ 3月31日)	: パート)
	介護職員 兼 調理員	山田 真理子	ヘルパー兼務	(4月1日 ~ 3月31日)	: パート)
	介護職員	北 久美子		(4月1日 ~ 3月31日)	: パート)
	介護職員	渡 百代		(4月1日 ~ 3月31日)	: パート)
	介護職員 兼 調理員	山本 真弓		(4月1日 ~ 3月31日)	: パート)
	介護職員	池田 直子	ヘルパー兼務	(4月1日 ~ 3月31日)	: パート)
	介護職員	神川 一美	学童兼務	(4月1日 ~ 3月31日)	: パート)
	介護職員	清水 博文	学童兼務		
	介護職員	須磨 勇記	学童兼務	(4月1日 ~ 3月31日)	: パート)
	介護職員	濱野 節子	ヘルパー兼務	(4月1日 ~ 3月31日)	: パート)
	介護職員	藤本 祥平	保育所兼務	(4月1日 ~ 3月31日)	: パート)
	看護師	塩村 淑子		(4月1日 ~ 3月31日)	: パート)
	看護師	貫目 三重子		(4月1日 ~ 3月31日)	: パート)
	看護師	神車 清美		(4月1日 ~ 3月31日)	: パート)
	調理員	岩本 文子		(4月1日 ~ 3月31日)	: パート)
	調理員	清水 瑞奈		(4月1日 ~ 3月31日)	: パート)
	調理員	矢田 浩子	学童兼務	(4月1日 ~ 3月31日)	: パート)
	清掃員	今城 薫		(4月1日 ~ 3月31日)	: パート)
	指導員	原田 春夫		(4月1日 ~ 3月31日)	: パート)

退職者 介護職員 宮澤 品恵 自己都合 (4月1日 ~ 7月31日 : パート)

6. デイサービスかりん部門では、2015年度以下のような苦情相談を受けた。

2件

①5月28日(木) スタッフの対応が「利用者を子ども扱いしていて、バカにしている」との苦情。
⇒ お詫びし、人生の先輩として尊敬の気持ちを持って対応するようスタッフに徹底した。

②5月28日(木) 預かっている薬を返却したが、その薬についての情報の伝達が家族になされていなかった。
⇒ お詫びし、スタッフ間の連絡を確実にを行うことを確認した。

ひやりはっと、事故報告は以下の通りです。

ひやりはっと報告	15 件 (前年度 10 件)	
事故報告	27 件 (前年度 19 件)	
車両事故報告	5 件 (前年度 2 件)	車両事故はいずれも軽度のかすり傷。

⑤ 世帯の状況

世帯形態	女性	男性	合計
単身	16	7	23
夫婦	0	0	0
その他	6	1	7
合計	22	8	30

⑥ 韓国籍・朝鮮籍の高齢者 2名 (6.6 %)

⑦ 被爆者健康手帳保持者 13名 (43.3 %)

⑧ 社会福祉法人の低所得者対策該当 0名 (0 %)

⑨ 生活保護受給者 4名 (13.3 %)

3. 利用形態等の状況

・ サービス内容

生活援助	身体介護を含む生活援助	身体介護	合計
25	5	0	30

・ 訪問回数

不定期	週 1	週 2	週 3	週 4	週5以上	合計
0	15	10	4	0	1	30

4. ご意見・苦情相談 1件

- ① 施設への入所が決まった利用者が引っ越しをする際、今までお世話になったからとヘルパーがタンスを譲り受けることとなり、その受け渡しで利用者の娘さん行き違いがあったり、利用者宅の家財道具を近所の人に勝手に渡したりしていると娘さんから苦情の連絡があった。預かっていたカギの取り扱いにも不満があり苦情の原因となったよう。まだ家にも戻る日があったにも関わらず家財道具がなくなっていた為、家にも戻れずホテルに宿泊することとなったのでその費用を事業所で負担し、謝罪をした。

